

平成30年度

「農業の新しい技術」公表



当センターでは、生産現場へ速やかに普及・定着を図る成果について、「農業の新しい技術」として公表しています。

平成29年度の「新しい技術」は次のとおりです。今後、農研NOWでは、「新しい技術」とその他の「研究成果情報」の内容についてご紹介していきます。

なお、「新しい技術」及び指導者向けの「研究成果情報」は当センターのHPにて公開しておりますので、ご覧ください。

【イベント情報】

いぐさ「涼風」に関する栽培加工講習会

9/26 (水)

10時～12時

14時～16時

(同一内容二回)

アグリシステム総合研究所 研修館

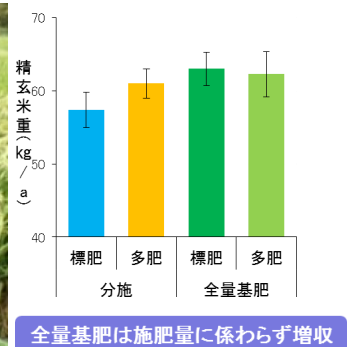
(問い合わせ先)

0965-52-

0782

※本講習会は、いぐさ関係者向けです。参加をご希望の方は、当日直接会場にお越しください。

- 1 褐毛(あかげ)和種種雄牛「春山栄」の選抜
- 2 褐毛(あかげ)和種種雄牛「春五月」の選抜
- 3 酒米「華錦」は平坦地で普通期に被覆尿素肥料の全量基肥で栽培すれば増収する
- 4 病害虫防除のためのイチゴ蒸熱処理における生育・収量に影響しない処理時期と処理条件
- 5 カンキツ新品種「熊本EC12」の特性(インターネット非公開)



50°C10分



52°C4分

今号で紹介する新しい技術

- ① 褐毛和種種雄牛「春山栄」の選抜 P.2
- ② 褐毛和種種雄牛「春五月」の選抜 P.3
- ③ 病害虫防除のためのイチゴ蒸熱処理における生育・収量に影響しない処理時期と処理条件 P.4

【お問い合わせ先】

畜産研究所

生産基礎技術研究室

096-248-6433



はるやまさかえ
褐毛和種種雄牛
あか牛「春山栄」

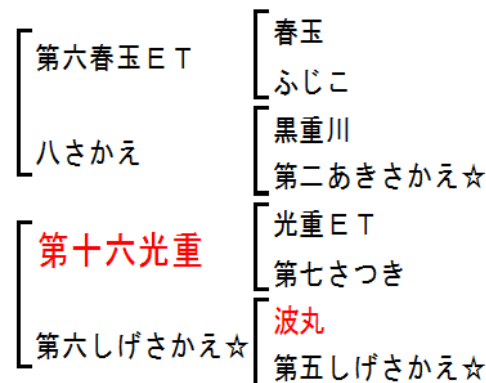
霜降りの度合いやロース芯面積、ばらの厚さが歴代最高を記録！

一頭あたりで取れる肉の量においても優れた成績を持っており、「春山都」の後継牛として肉質・増体ともに期待できる種雄牛です。



春山都

第七しげさかえ☆



【現場後代検定成績】

(単位:kg, cm², cm)

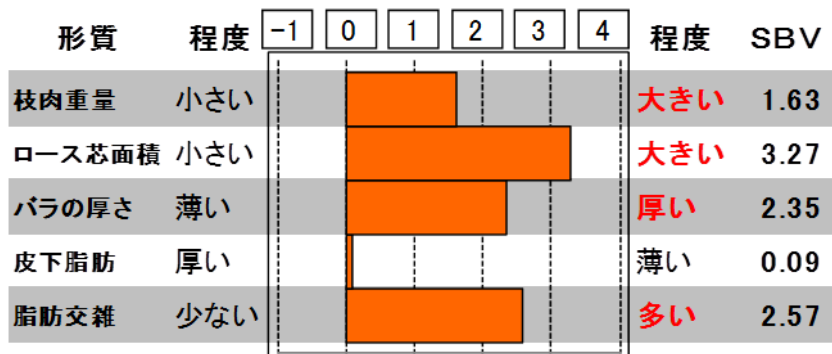
頭数	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMSNo.	肉質等級(3等級以上)
去勢 7 頭	24.5	508.1	62.6	8.5	3.1	74.0	5.14	100.0% (7/7)
雌 8 頭	24.0	457.0	57.5	7.9	3.6	73.2	3.75	62.5% (5/8)

※BMSNo(牛脂肪交雑等級)…等級が高いほど霜降りの度合いが高い

【産子の枝肉】



性別	去勢
枝重	560kg
ロース	85cm ²
バラ厚	9.3cm
BMSNo.	8
等級	A-5



標準化育種価 (SBV) とは？

育種価(遺伝的能力)を明確化した数値
1を超えるとその特徴を持つといえる

【お問い合わせ先】

畜産研究所

生産基礎技術研究室

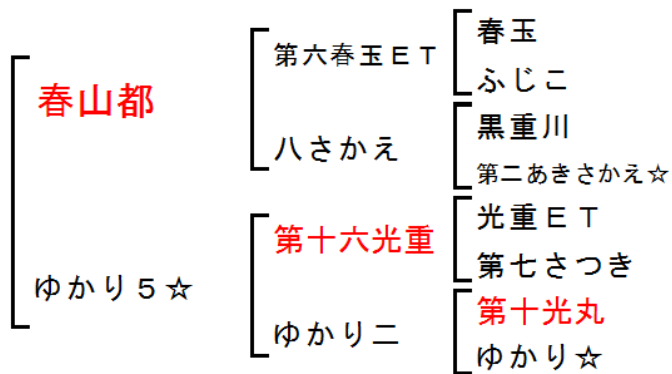
096-248-6433



はるさつき あか牛「春五月」

増体性の指標である日齢枝肉重量が歴代最高を記録！

一頭当たりで取れる肉の量においても平均500kgを超える優れた成績を持っており、「春山都」の後継牛として特に肉量と増体性の改良に期待できる種雄牛です。



【現場後代検定成績】

(単位:kg、cm²、cm)

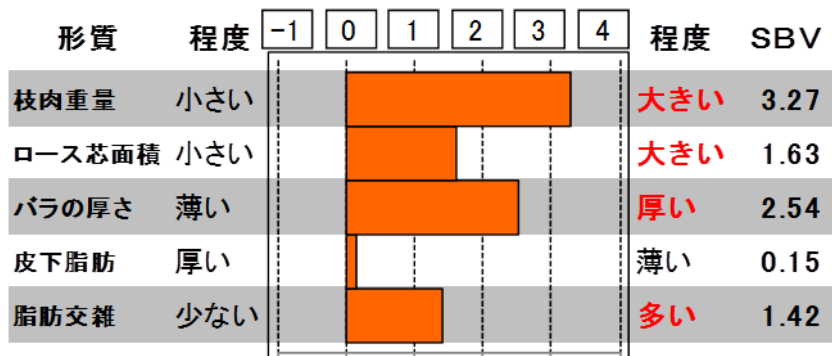
頭数	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMSNo.	肉質等級(3等級以上)
去勢 9 頭	24.9	513.2	54.8	8.2	2.9	73.0	3.33	44.4% (4/9)
雌 5 頭	24.9	491.3	53.2	8.2	4.0	72.1	4.20	40.0% (2/5)

※BMSNo(牛脂肪交雑等級)…等級が高いほど霜降りの割合が高い

【産子の枝肉】



性別	雌
枝重	472kg
ロース	60cm ²
バラ厚	8.4cm
BMSNo.	8
等級	A-5



標準化育種価 (SBV) とは？

育種価(遺伝的能力)を明確化した数値
1を超えるとその特徴を持つといえる

【お問い合わせ先】
農産園芸研究所
野菜研究室
096-248-
6446

3 稼げる農業を目指した革新的な生産技術の開発

病虫害防除のためのイチゴ蒸熱処理における生育・収量に影響しない処理時期と処理条件

飽和水蒸気の熱を利用する「蒸熱処理」は、イチゴ苗に寄生するハダニ・うどんこ病等の病虫害を同時に防除できる物理的防除技術として開発されました。そこで、促成作型イチゴの苗に蒸熱処理装置を利用した場合の影響を解明しました。

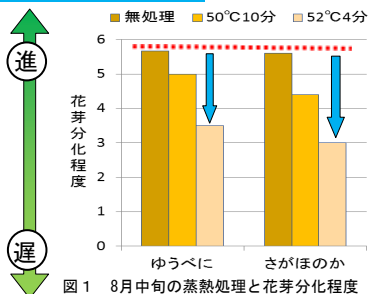
1 研究の成果

- ①「ゆうべに」等の早生系品種においては、8月中旬処理で年内収量の低下が見られますが、定植時(9月中旬)50℃10分処理は、年内収量の低下がありません。
- ②定植時(9月中旬)処理で、定植後に葉焼けがみられますが、52℃4分より50℃10分が軽度で、生育への影響もありません。

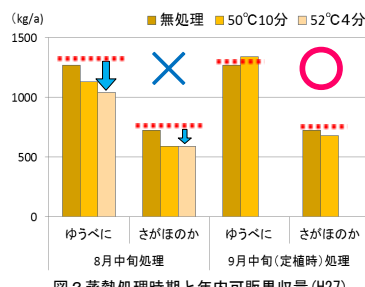
2 留意点

- ①定植時に50℃10分の時期と条件を遵守してください。
- ②蒸熱処理の手順はマニュアル※を遵守してください。

※「九州を中心とした暖地向けイチゴ苗蒸熱処理防除マニュアル2017」QRコード →



注1) 花芽分化程度は、未分化：0、肥厚初期：1、肥厚中期：2、肥厚後期：3、二分期：4、二分期後期：5、ガク片形成期：6、花弁形成期以降：7とした。
注2) 調査日：「ゆうべに」：9/16、「さがほのか」：9/15



注1) 蒸熱処理日8月中旬処理(8/13)、9月中旬(9/18)
注2) 試験ほ場：農業研究センター内ガラスハウス



50℃10分

52℃4分

写真 定植後の葉焼けの程度

収量・生育に影響しない処理時期と条件は、9月中旬(定植時)の50℃10分処理です。

処理時期	処理条件	花芽分化	年内収量	生育
定植前	50℃10分	分化確認後の処理のため、影響なし	影響なし	葉焼け(軽度)
	52℃4分		品種によって影響あり	葉焼け・生育遅延
8月下旬	50℃10分	遅れる	影響あり	—
	52℃4分		影響あり	—

KUMAMOTO Pref.
農業研究センター

〒861-1113
熊本県合志市栄3801
tel 096-248-6411 fax 096-248-7039
E-mail
noukenkikaku@pref.kumamoto.lg.jp

本紙の内容に関するお問い合わせは、企画調整部 企画情報課までご連絡ください。

農業研究センター HPはこちら →



管理部

総務課
経理課
096-248-6412

企画調整部

企画情報課
096-248-6422
096-248-6423

農産園芸研究所

作物研究室
バイオ育種研究室
花き研究室
野菜研究室
096-248-6444

茶業研究所

096-282-6851

高原農業研究所

0967-22-1212

球磨農業研究所

0966-45-0470

生産環境研究所

土壌環境研究室
施設経営研究室
病虫害研究室
096-248-6447

畜産研究所

大家畜研究室
中小家畜研究室
生産基礎技術研究室
飼料研究室
096-248-6433

草地畜産研究所

0967-32-1231

アグリシステム総合研究所

アグリビジネス支援室
フードバレー推進室
生産情報システム研究室
いぐさ研究室
野菜栽培研究室
いぐさ普及指導室
0965-52-0372

果樹研究所

常緑果樹研究室
落葉果樹研究室
病虫化学研究室
0964-32-1723

天草農業研究所

0969-22-4224